

平成30年度 静岡大成高等学校 自己評価率比較表

評価項目	自己評価率					
	前期		後期		平均	
	A	B	A	B	A	B
<b>1 自主性・協調性を培い、自ら学び、自ら考える力を伸ばす。</b>						
① 基本的な生活習慣を確立させ、「やるべきこと・守るべきこと」が実行できる。	41%	44%	53%	44%	47%	44%
② 「学力の3要素」を意識し、知識・技能を育てると共に、これからの時代に求められる資質や能力の育成。	28%	41%	38%	44%	33%	43%
③ ALやICT機器を活用し、主体的・対話的で深い学びに繋がる指導方法を取り入れ生徒の能力を引き出す工夫。	44%	25%	50%	19%	47%	22%
④ 授業・部活動・行事・家庭学習など生活のリズムを習得させ、逞しい心身を育てる。	34%	56%	44%	47%	39%	52%
⑤ 学級活動・部活動や行事の活性化を進め、協働して目標達成を目指す強い心を養う。	34%	50%	50%	38%	42%	44%
⑥ 計画を立てて資格取得に励み、挑戦意欲、物事をやり抜く力や自己を鍛える。	22%	53%	38%	44%	30%	49%
⑦ 「朝読書」「マナトレ」「2Pノート」に取り組む中で、自学自習力や考える力を深める	31%	41%	41%	38%	36%	40%
<b>2 一人ひとりを大切にして、夢や希望を育み個性を伸ばす。</b>						
① 適性や希望を最大限生かせる進路実現に向けて面談を繰り返し、生徒理解を深める。	44%	34%	53%	31%	49%	33%
② 仲間との連帯感や達成感が得られるよう学校行事・学級活動や部活動等の充実・工夫を探る。	38%	44%	41%	41%	40%	43%
③ 生徒が確かに成長した実感を持たせる指導に徹する。	44%	44%	53%	38%	49%	41%
④ 集団の中で生徒同志が望ましい人間関係を築く手助けをする。(孤立させない)	31%	53%	41%	47%	36%	50%
⑤ 大学進学者の増加を目指し、満足度の高い進学補習に取り組む	28%	47%	34%	41%	31%	44%
<b>3 礼節を重んじ、明るく生き抜くための逞しさを伸ばす。</b>						
① 規範意識の確立を図り、積極的な生徒指導に励む。	38%	41%	47%	44%	43%	43%
② マナーの向上を図る。(通学時、授業時、校内)	19%	66%	25%	59%	22%	63%
③ 授業規律を整え落ち着いた、けじめある学びの環境を作る。	38%	50%	41%	44%	40%	47%
④ 清掃活動や整理整頓から、物を大切に作る心、感謝の心、社会奉仕の心を育てる。	31%	50%	38%	47%	35%	49%
⑤ 多様性を受け止め、協調性やコミュニケーション力豊かな生徒を育てる。	31%	44%	44%	38%	38%	41%
<b>4 生徒の能力と適性が生かされる進路実現</b>						
① 夢や希望を持った進路実現を目指すために、進路に関わる最新の知識や情報を、生徒や家庭と共に共有できるよう教員自らも積極的に学び研究する姿勢を持つ。	38%	34%	34%	41%	36%	38%
② 第1学年は生涯計画やキャリア教育のもと、安易な進路に走らず、適性や希望が最大限生かせる進路実現を目指し、計画的な取り組みを促す。	25%	41%	34%	44%	30%	43%
③ 第2学年は外部の進路説明会やオープンキャンパス等へ親子での参加を促し進路目標を明確化させ、実現に向けた指導をする。	19%	41%	28%	41%	24%	41%
④ 第3学年は目標達成へ、最大限の能力を発揮させ、進路実現・自己実現を図る。	34%	34%	38%	31%	36%	33%
⑤ 「大学入学共通テスト」や「学びの基礎診断テスト」に対応できる体制づくり	22%	47%	16%	56%	19%	52%
<b>5 授業力を高め教育の質の向上に努める。</b>						
① 校内外の研修会・研究授業・公開授業に積極的に取り組み、全教員が研修を積み、授業力、学校力を向上させる。	28%	50%	31%	50%	30%	50%
② 生徒による授業評価を真摯に受け止めると共に自己評価・外部評価を生かし、改善・向上に努める	34%	50%	34%	53%	34%	52%
③ 指導計画表や教科ごとの指導目標の充実に努め、進捗や内容、定期テスト、評価について公平性・妥当性を図る。	31%	59%	50%	38%	41%	49%
④ 教務内規を理解して、生徒の指導に生かし、手落ちがないよう万全を期す。	56%	34%	66%	25%	61%	30%
<b>6 安心安全のもと、開かれた学校づくりの推進に努める。</b>						
① 本校ホームページ等を利用し、保護者・卒業生・受験生の必要情報、また生徒の頑張りや活動報告などを効果的に外部に発信し、全職員で積極的広報活動を進める。	38%	50%	47%	41%	43%	46%
② 国際理解教育を進めるため、ホームステイ研修者だけでなく、あらゆる教育活動の中において、グローバルな視点に立って物考える生徒の育成に努める。	25%	38%	25%	44%	25%	41%
③ 地震や災害時を含めた危機対応体制を理解し、効果的訓練から安心安全を高める。	22%	56%	31%	56%	27%	56%
④ 生涯学習・PTA行事・地域交流などに積極的に関わり、本校の教育を身近で伝える。	25%	50%	28%	63%	27%	57%
⑤ 小学校・中学校との関係を大切に、信頼関係の構築に努める。	38%	50%	47%	41%	43%	46%
⑥ 静岡精華幼稚園・静岡福祉大学との連携を密にして、相互の発展に繋げる。	31%	47%	25%	56%	28%	52%
⑦ 教育相談の充実を図り、いじめの早期発見や予防に努める。	41%	47%	50%	41%	46%	44%